

令和5年度 児童朝会67講話

令和6年3月11日【てふてふ1】
おはようございます。

朝犬の散歩をしていましたところ、
鶯の鳴き声が聞こえてきました。が、
「ほーっけっ」とまだ上手にできな
くできませんでした。鳥も人と同じ、
練習して上手になけるようになるの
ですね。

早いもので、今年度最後の全校児童
朝会となりました。次に集まる修了式
では、6年生は卒業していますので、
このメンバーで集まるのは、今日で最
後になります。最後の児童朝会も良い
ものにしていきましょう。

さて、前回から募集しています、心
がつらいときに、何を思い浮かべます
かというお題で、今回もたくさんのお
友だちが書いてくれました。ありが
とうございます。ゲームや推しなどの回
答が多かったと思います。

先週行われた6年生の卒業をお祝い
する会も、大変良かったですね。1年
生から5年生の在校生が心を込めてつ
くったメッセージを送り、思い出のア
ルバムを歌い、6年生がお礼として雑
巾をプレゼントし、旅立ちの日を歌う
と、校長先生は胸が熱くなりました。
6年生のみなさん、本当にご卒業おめ
でとうございます。

さて、今日は6年生の卒業にちなん
で「てふてふ」のお話をしようと思い
ます。てふてふってなんでしょう。少
し周りの人と聞き合ってみましょう。
てふてふというのは、昔の書き方で、
今は「ちょうちょ」と書きます。

ではちょうちょと、卒業がどんなつ
ながりがあるかと言いますと、どちら
も春に関係がありますよね。ちょう
ちょはなにで生まれますか？そう卵か
ら生まれます。でも卵からいきなりち
ょうちょにはならないですね。まず幼
虫になって、つぎにさなぎになって、
そしてちょうちょになります。さなぎ
って、どんな生き物でしょう？じっ
として動かない、青虫でもちょうちょ
でもない。人間にたとえると子どもと間
の中学生に似ているかもしれません
ね。大人でもなければ、子どもでもな
い。中学生は電車は大人料金がかかります。
でも映画館では大人よりは安く
子どもよりは高い。それが中学生です。

もちろん、人間はちょうちょではあ
りませんから、さなぎのように中学生
だからと言っても姿やかたちが変わ
るわけではありません。でも、心は変
わっていきます。たとえば、身近に好
きな人がでてきたりします。ときには
その人が家族よりも大切にしたいと
思うかもしれません。やがて結婚して、
新しい家族をつくるかもしれません。
全員そうなるわけではありませんが、
そういう人が多くなっていくのが、中
学生です。また、自分は何者？となや
むようになる人もいるかもしれませ
ん。自分はどこから来たのだろう、ど
こへ行くのだろうと悩んだり、友だち
との関係で悩んだりすることがある
かもしれません。こうなるのは特別な
ことではなく、自然な心の成長であり
ます。これを自我のめざめと言ったり、
アイデンティティーの確立と言った

りします。そして、こういう心の変化がおきやすい中学生、高校生ぐらいのことを、思春期といいます。春を思ふ時期なのです。

今週のお題です。「中学生になったらしてみたいことを教えてください。」

今日も最後まで聞いていただきありがとうございました。